# Nikon

# FM10

使用説明書

# 安全上のご注意

ご使用の前にこの「使用説明書」をよくお読みのうえ、十分に理解してから正しくお使い下さい。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管して下さい。

# 表示について

製品を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、重要な内容を記載しています。

表示と意味は次のようになっています。

| | | |
|---|---|---|
|  | **警告** | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。 |
|  | **注意** | この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。 |

## 絵表示の例

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合は電池を取り出す）が描かれています。

# 警　告

見ないこと

## レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと

失明や視力障害になることがあります。

電池を取る

すぐに修理依頼を

## 発熱、発煙、焦げ臭いなどの異常時は、速やかに電池を取り出すこと

そのまま使用すると電池が破裂し、ケガの原因となります。
電池を取り出す際、火傷に十分注意すること。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼して下さい。

使用禁止

## 可燃性ガスの雰囲気中で使用しないこと

爆発、火災の原因になることがあります。

禁　止

## ストラップが首に巻き付かないようにすること
## 特に幼児・児童の首にストラップをかけないこと

首に巻き付いて窒息することがあります。

# 注　意

分解禁止

**分解したり修理・改造をしないこと**

異常動作をしてケガをすることがあります。

接触禁止

**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと**

破損部でケガをすることがあります。
電池を抜いて、販売店または当社サービス機関に修理を依頼して下さい。

水かけ禁止

**水につけたり水をかけたりしないこと**

電池が破裂、発熱し、ケガの原因となります。

放置禁止

**製品および付属品は、幼児の手の届かない所に保管すること**

ケガをしたり付属品や電池を飲み込むおそれがあります。

# 注　意

**使用しないときは、レンズにキャップをつけるか太陽光のあたらない所に保管すること**

太陽光がレンズに入射し、発火の原因となります。

**三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しないこと**

転倒したり、ぶつけたりしてケガの原因となります。

**使用説明書に表示された電池を使用すること**

発熱、発火の原因となります。

**ファインダーをのぞきながら歩かないこと**

つまずいたり、転倒したりしてケガの原因となります。

# 注　意

## 電池を火に入れたり、ショート、分解、加熱をしないこと

破裂、発火の原因となります。

## 電池に表示された警告・注意を守ること

破裂、発火の原因となります。

# はじめに

このカメラは、小型軽量のTTL開放測光のメカニカルシャッター一眼レフカメラです。シャッターボタンの半押しによりファインダー内左横に見える露出表示がグリーンになるようにシャッタースピードと絞りを調節し、ピントを合わせシャッターボタンを押す。それだけで、どなたにも美しい写真を撮っていただけます。

## ■保証書とカスタマ登録カードについて

この製品には、保証書とカスタマ登録カードが付いていますのでご確認ください。

…保証書の詳細は、「アフターサービスと保証について」(P39)をご覧ください。

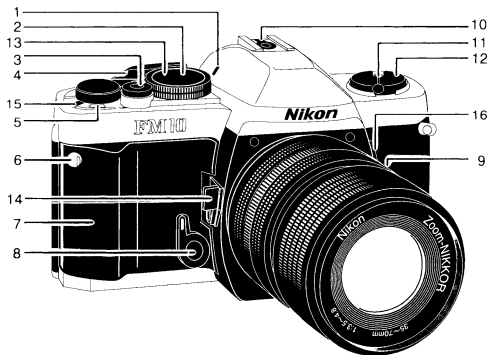
## ■撮影の前には試し撮りを

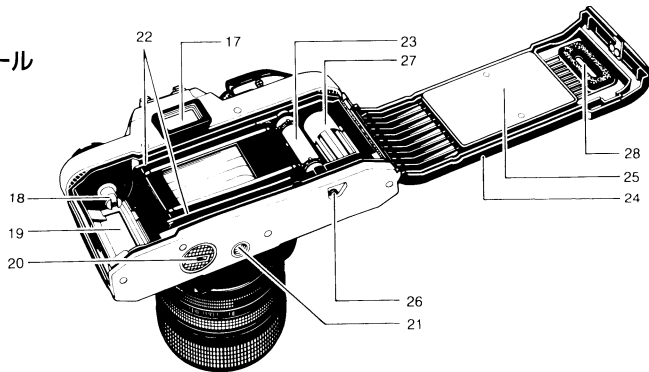
大切な撮影(結婚式や海外旅行など)をするときには、必ず試し撮りをして、カメラが正常に機能するかを事前に確認してください。

…本製品の故障に起因する付随的損害(撮影に要した諸費用および撮影により得べかりし利益の喪失等)については補償いたしかねます。

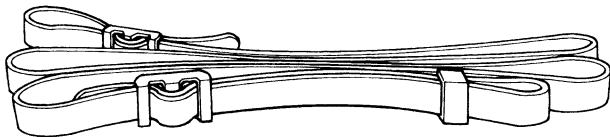
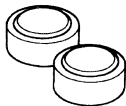
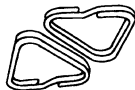
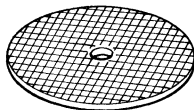
# 目次

# 各部の名称

(1)　シャッタースピード指標
(2)　シャッタースピードダイヤル/フィルム感度セットリング
(3)　シャッターボタン
(4)　フィルム巻上げレバー
(5)　フィルムカウンター
(6)　吊り金具
(7)　グリップ
(8)　セルフタイマーレバー
(9)　レンズ取外しボタン
(10)　アクセサリーシュー
(11)　巻戻しクランク
(12)　巻戻しノブ/裏ぶた開閉ノブ
(13)　フィルム感度確認窓
(14)　絞込み（プレビュー）レバー
(15)　多重露出レバー
(16)　測光ボタン

※イラストの中のレンズはFM10カメラボディ単体販売のものには付属いたしません。

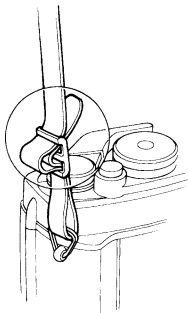
(17)　ファインダー接眼窓
(18)　フィルム巻戻し軸
(19)　パトローネ室
(20)　電池室蓋
(21)　三脚ねじ穴
(22)　フィルムガイドレール
(23)　スプロケット
(24)　裏ぶた
(25)　フィルム圧板
(26)　巻戻しボタン
(27)　巻取りスプール
(28)　フィルム確認窓

# FM10付属品

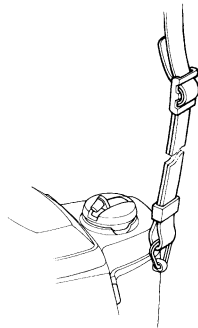
●専用ケース※1

●レンズ　Aiズームニッコール35-70mm F3.5-4.8S（52mmレンズキャップ付き）※1

●ネックストラップ(取り付け方は裏面をご覧ください)

●電池
LR44型アルカリ電池2個

●三角環

●三脚マット
（ご使用の際はP18をご覧ください。）

※1　専用ケースとレンズは、FM10カメラボディ単体販売のものには付属いたしません。

# ネックストラップの取り付け方

付属のネックストラップは、下図のように取り付けてご使用ください。

**1** 三角環を吊り金具(6)に通し、ストラップを取り付けます。

…必ずストラップの先端が内側になるように取り付けてください。

**2** 片方で長さを調節します。

…黒いプラスチック環が付いている方で長さを調節し、プラスチック環でストラップをまとめると便利です。

# 電池の入れ方

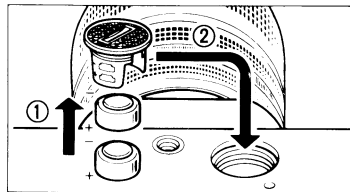
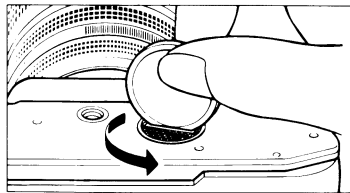
| ⚠警告 |  放置禁止 | **電池は幼児の手の届かない所に置くこと**<br>万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。 |
|---|---|---|

このカメラには、LR44型アルカリ電池2個、CR-1/3N型リチウム電池1個またはSR44型銀電池2個を使用します。

**1 電池室蓋（20）を、コインなどで反時計方向に回して外します。**

**2 電池を電池室蓋に差し込みます。**

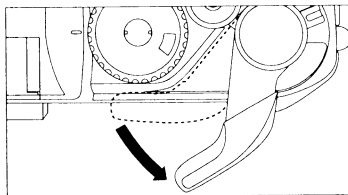
…電池室蓋側面の表示に合わせて入れてください。

**3 電池室蓋を電池室に差し込み、時計方向に回して確実にねじ込みます。**

# 電池容量のチェック

**1** 巻上げレバー（4）を図のように引き出してください。

**2** シャッターボタン(3)を軽く押したまま(半押し)、ファインダー接眼窓(17)をのぞきます。

…ファインダー内左側に、3個のランプ（+、○、−）のどれかが点灯していれば、電池容量はOKです。ひとつも点灯しない場合は、電池を入れ間違えているか、電池が消耗しています。

…電池が消耗している場合は、2個とも新しい電池と交換してください。

※撮影しないときは、不用意にシャッターがきれるのを防ぐため、巻上げレバーを元の位置に戻しておいてください。

# フィルムの入れ方

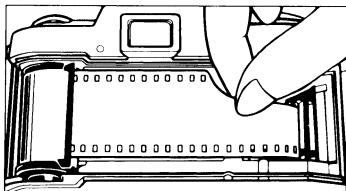
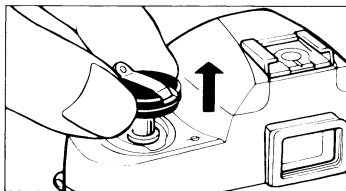
・フィルムの出し入れは、直射日光を避けて行ってください。
・フィルムの出し入れの際に、指先やフィルムの先端がシャッター幕に触れないように注意してください。

**1** 巻戻しノブ(12)を強く引き上げると裏ぶたが開きます。

…裏ぶたが開くと、フィルムカウンター(5)は“S”になります。

**2** パトローネを出っ張りのある方を下にして、パトローネ室(19)に入れます。

**3** 巻戻しノブを元の位置に下げて、パトローネに噛み合わせます。

**4** フィルム先端を巻取りスプール(27)の溝に差し込み、フィルムの穴(パーフォレーション)をスプールの溝の下方の爪に引っ掛けます。

## 5 巻上げレバーでフィルムを巻き上げます。

…フィルムが上下のフィルムガイドレール（22）の間に正しく置かれていること、フィルムの穴がスプロケット（23）の歯に噛み合っていることを確認してください。

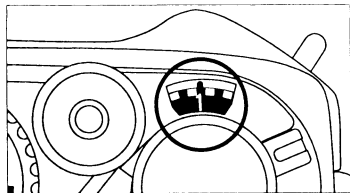
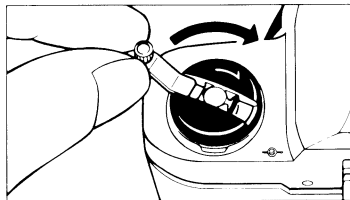
## 6 裏ぶたを、パチンと音がするまで静かに押して閉じます。

## 7 巻戻しクランクを矢印の方向にゆっくり回して、フィルムのたるみを無くします。

…クランクを回す力が重くなったら、フィルムのたるみがない状態です。

## 8 巻上げレバーを巻き上げてシャッターをきる動作を繰り返して行い、フィルムカウンターが“1”になるまでフィルムを巻き上げます。

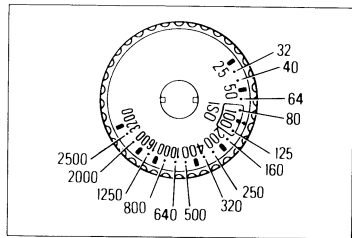
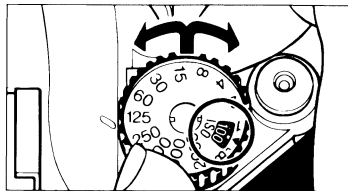
…フィルムを巻き上げるとき、巻戻しノブが回っていれば、フィルムは正しく送られています。必ず確認してください。

…巻上げレバーは、ゆっくり確実に巻き上げてください。

# フィルム感度のセット方法

フィルム感度は、フィルムの外箱あるいは使用説明書に明記されています。

**1** **フィルム感度セットリング(2)を引き上げながら回します。**

**2** **フィルム感度確認窓(13)内で、使用フィルムの感度と同じ目盛を指標“▼”に合わせます。**

…フィルム感度は必ず目盛の位置を指標に合わせてください(確実にクリックに落ち込む位置にセットしてください)。目盛以外の位置に合わせると正確な露出表示が得られません。

# カメラの持ち方、構え方

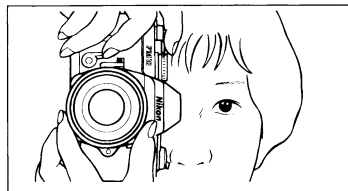
・左手はカメラの底を支え、左手の親指と人指し指で距離リングを回せるように持ちます。

・右手はグリップを軽く握り、人指し指をシャッターボタンにかけます。

・両手のひじを軽く体につけ、カメラを額につけてファインダー接眼部をのぞきます。

※望遠レンズ使用時あるいは低速シャッタースピード使用時は、手ぶれを防ぐため、三脚、ケーブルレリーズ等のご使用をおすすめします。

※三脚マットについて

カメラに大口径レンズ（フィルターサイズ62mm・72mm・77mm等）を装着して三脚に取り付ける際に、取り付け位置によっては三脚の雲台とレンズ鏡筒部が接触することがあります。このような場合は、雲台のカメラ止めねじ部に三脚マットを乗せて、カメラの取り付け位置を高くしたうえで三脚に固定してください。

# 適正露出の決め方

## シャッタースピード優先撮影の場合

標準レンズ（Aiズームニッコール35～70mm/F3.5～4.8S）を装着し、ISO100フィルム使用時のシャッタースピードの一般的な目安は、表の通りです。

| 撮影状況 | シャッタースピード（秒） |
|---|---|
| 薄暗くて、静止している被写体 | 1～1/15 |
| 一般的な室内 | 1/30～1/60 |
| 晴れた屋外 | 1/125～1/250 |
| 真夏の海辺 | 1/500～1/2000 |
| 雪山 | 1/500～1/2000 |
| 動きの速い被写体 | 1/500～1/2000 |

…シャッタースピードの目盛は、"2000"は1/2000秒を、"1"は1/1秒を、"B"はバルブ撮影を表しています。

…シャッタースピードは、被写体が明るいほど、被写体の動きが速いほど、使用フィルム感度が高いほど、高速にセットします。

…望遠レンズ装着時は、手ぶれの影響が大きいため、できるかぎり速いシャッタースピードを選んでください。一般に使用レンズの焦点距離数字以上のシャッタースピード、つまり135mmレンズなら1/250秒以上、300mmレンズなら1/500秒以上をおすすめします。

**1 巻上げレバーを軽く引き出してからシャッターダイヤル(2)を回して､希望のシャッタースピードをシャッタースピード指標(1)に合わせます。**

…シャッターダイヤルは目盛の中間位置で止めて使用すると正確なスピードが得られません。カチッと音がするクリック位置にセットしてください。

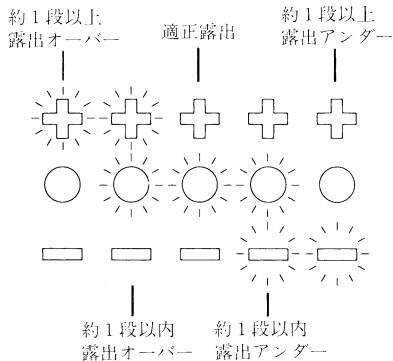
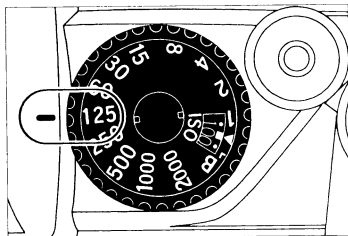
…B（バルブ）にセットしたときは、露出表示は使用できません。

**2 ファインダーをのぞき、シャッターボタンを軽く押したままレンズの絞りリングを回します。**

…ファインダー内左横のグリーンの○印が点灯すれば、適正露出です。

…赤の＋印が点灯している場合は露出オーバーなので、絞りを絞り込む方向に回します。

…赤の－印が点灯している場合は露出アンダーなので、絞りを開く方向に回します。

※極端に明るいものや暗いものの場合は､カメラの測光範囲(EV2～EV19)を越えるため正確な露出表示ができません。グリーンの○印が点灯していても､不適正な露出で撮影されることがあります。

# 適正露出の決め方

## 絞り優先撮影の場合

絞り値は被写体の明るさ、被写界深度のとり方、使用フィルム感度などによって選びます。ISO100のフィルム使用時の一般的な絞り値の目安は、表の通りです。

| 撮影状況 | 絞り(F) |
|---|---|
| 薄暗いとき | F1.4〜F2 |
| 被写界深度を浅くしたい場合 | F1.4〜F2 |
| 一般的な室内 | F2〜F4 |
| 曇天の屋外 | F4〜F8 |
| 晴れた屋外 | F8〜F11 |
| 真夏の海辺 | F11〜F16 |

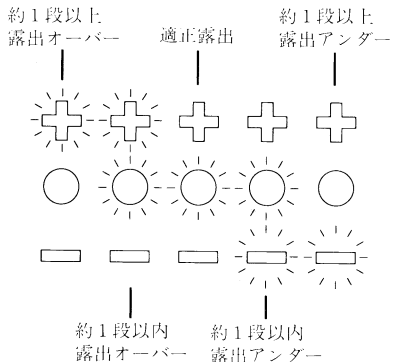
**1** 巻上げレバーを軽く引き出してからレンズの絞りリングを回して、希望の絞り数値をレンズの指標に合わせます。

**2** ファインダーをのぞき、左手でカメラを持ち、左親指で測光ボタン(16)を押したままシャッターダイヤルを回します。

…ファインダー内のグリーンの○印が点灯すれば、適正露出です。

…赤の＋印が点灯している場合は露出オーバーなので、シャッタースピードを速くします。

…赤の－印が点灯している場合は露出アンダーなので、シャッタースピードを遅くします。

※このカメラの測光範囲についてはP23を参照してください。

# このカメラの測光範囲について

このカメラの測光範囲はEV2～19（ISO100）です。
各フィルム感度での露出計に連動するシャッター速度の範囲は下表の通りです。
の部分はLEDが点灯しても、露出計は連動しませんのでご注意ください。

| フィルム感度(ISO) | シャッター速度 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 25 | 1 | 1/2 | 1/4 | 1/8 | 1/15 | 1/30 | 1/60 | 1/125 | 1/250 | 1/500 | | |
| 50 | 1 | 1/2 | 1/4 | 1/8 | 1/15 | 1/30 | 1/60 | 1/125 | 1/250 | 1/500 | 1/1000 | |
| 100 | 1 | 1/2 | 1/4 | 1/8 | 1/15 | 1/30 | 1/60 | 1/125 | 1/250 | 1/500 | 1/1000 | 1/2000 |
| 200 | | 1/2 | 1/4 | 1/8 | 1/15 | 1/30 | 1/60 | 1/125 | 1/250 | 1/500 | 1/1000 | 1/2000 |
| 400 | | | 1/4 | 1/8 | 1/15 | 1/30 | 1/60 | 1/125 | 1/250 | 1/500 | 1/1000 | 1/2000 |
| 800 | | | | 1/8 | 1/15 | 1/30 | 1/60 | 1/125 | 1/250 | 1/500 | 1/1000 | 1/2000 |
| 1600 | | | | | 1/15 | 1/30 | 1/60 | 1/125 | 1/250 | 1/500 | 1/1000 | 1/2000 |
| 3200 | | | | | | 1/30 | 1/60 | 1/125 | 1/250 | 1/500 | 1/1000 | 1/2000 |

# ピントの合わせ方

ピントは、ファインダー中央の二重円内で合わせます。内側の円はスプリットイメージプリズムに、その外周はマイクロプリズムになっています。
ファインダー全体のマット面でもピント合わせができます。

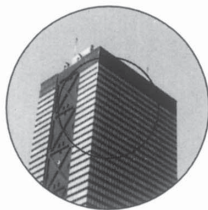
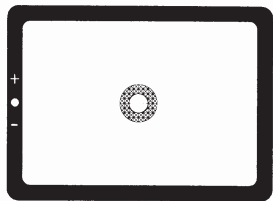
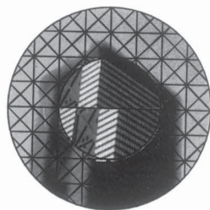
…ピント合わせ方法は、被写体や使用レンズなど撮影状況に応じてお選びください。

## 1 ファインダーをのぞき、距離リングを回します。

…スプリットイメージプリズムでは、被写体の上下の像が一致すればピントの合った状態で、像が左右にずれている場合はピントが合っていない状態です。

…マイクロプリズムでは、被写体が最もはっきり見える状態がピントの合ったときで、崩れてちらちらした感じに見えるときはピントが合っていないときです。

…ファインダー全体のマット面では、像が最もはっきり見える状態がピントが合ったときです。

※このカメラのファインダー視野率は約92%です。実際に写る範囲はファインダーで見える範囲より若干広くなります。

ピントが合っている

ピントがずれている

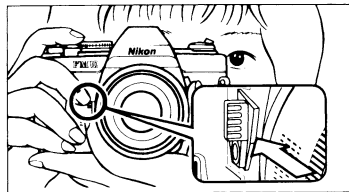
# 被写界深度の確認方法

セットした絞り値での被写界深度を、ファインダーをのぞいて確認できます。

**1** 絞りをセットしてから、絞込み(プレビュー)レバー(14)を押し込みます。

**2** ファインダーをのぞいて、被写界深度を確認します。

**注意**

- 絞込みレバーは十分に押してください。
- 絞込みレバーを押し込んでいる間は、シャッターをきったり、フィルムを巻き上げたりしないでください。カメラの作動に不具合が生じたり、故障するおそれがあります。

# フィルムの巻戻し方

フィルムの巻戻し、取出しは直射日光の当たらないところで行ってください。

**1 巻上げレバーが重くなったらフィルムカウンター(5)を確認してください。**

…規定枚数を撮り終わったらフィルムを巻戻します。

**2 カメラ底部の巻戻しボタン(26)を押し込みます。**

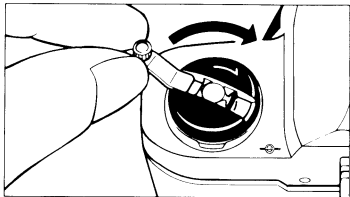
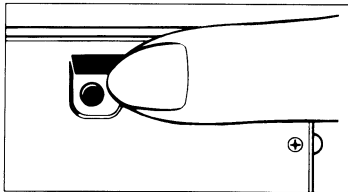
**3 巻戻しクランク(11)を起こして、矢印方向に回します。**

…巻戻しの手ごたえが急に軽くなったら、巻戻し完了です。

**4 巻戻しノブを引き上げて裏ぶたを開き、フィルムを取り出します。**

…巻戻しが完了するまでは、裏ぶたを開けないでください。裏ぶたを開けるとフィルムに光が入り露光します。

注意

巻上げ途中でフィルム終端に達した場合は、巻上げレバーがロックされます。この場合は、力を入れて無理に巻き上げないでください。フィルムを完全に巻き戻した後、いったん巻上げ操作を完了させてから元の位置に戻してください。

# B(バルブ)撮影

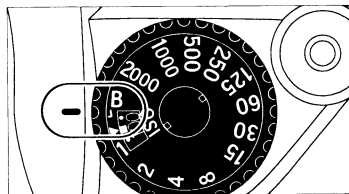
夜景など1秒以上の長時間露出を必要とするときや、スピードライトのテスト発光との併用で特殊撮影を楽しむときなどにご利用ください。

※三脚、ケーブルレリーズ等のご使用をおすすめします。

※バルブを使用した長時間露光時には、電池消耗及びLED表示による漏光が発生し得ることもありますので、電池を取り外して下さい。

## 1 シャッターダイヤルを“B”にセットします。

## 2 シャッターボタンを押します。

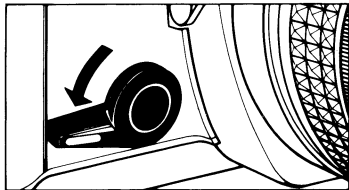
…押している間は、シャッターが開いています。

# セルフタイマー撮影

記念撮影などで自分も一緒に写したいときにご利用ください。カメラぶれを防ぐ目的でケーブルレリーズの代わりに利用することもできます。

※セルフタイマーはいったんセットした後は解除できませんので、注意してください。

**1** **巻上げレバーを巻き上げてから、セルフタイマーレバー(8)を反時計方向に一杯に回します。**

**2** **シャッターボタンを押します。**

…セルフタイマーが作動し、約10秒後にシャッターがきれます。

# スピードライト撮影

ニコン製のスピードライトをご使用の場合は、アクセサリーシュー(10)に差し込むだけで使用できます。

**1 シャッターダイヤルを1/125秒より低速にセットします。**

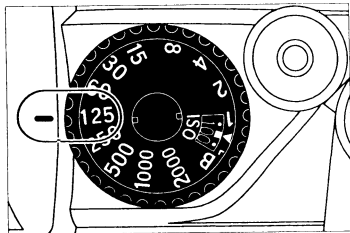
**2 絞りをセットします。**

…スピードライトを自動調光モードでご使用の場合は、スピードライトの使用説明書に従って絞りをセットします。

…スピードライトをマニュアルモードでご使用の場合は、下の式から得られる絞りをセットします。

**絞り値(F)=ガイドナンバー(GN)÷撮影距離(m)**

注意

・他社製のスピードライトは使用しないでください。カメラの正常な機能が発揮できないことがあります。

# 多重露出撮影

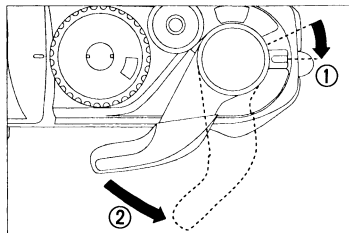
同一コマ上に複数回の露光を与えることにより、特殊な効果を出すことができます。

**1** **シャッターボタンを押して、1回目の撮影を行います。**

**2** **多重露出レバー（15）を手前に止まる所まで引きながら、巻上げレバーでフィルムを巻き上げます。**

…フィルムカウンターの数字が変わっていないことを確認してください。

**3** **シャッターボタンを押して、2回目の撮影を行います。**

**4** **希望の回数だけ2〜3の手順を繰り返します。**

…多重露出では同一コマ上に何回も露出を与えるので、各撮影の露光量の合計が1コマの露光量となります。背景と被写体が重なる場合は、あらかじめ露出補正しておくことが必要です。次を目安に補正してください。

2回 : -1.0、3回 : -1.5、4回 : -2.0

撮影前にテストしてください。

背景が完全に黒く、被写体が画面内で重ならない場合は、露出補正を行わずに、各露出ごとに適正露出で撮影するのが基本です。

※多重露出撮影時以外は、フィルム巻上げ時に多重露出レバーを動かさないように注意してください。

※多重露出撮影の際のフレームは極力ずれの生じないように配慮していますが、フィルムのカーリングやたるみ、巻き上げの緩急などにより、若干ずれることがあります。

# 赤外線撮影

赤外フィルムとフィルターを使用した赤外線撮影時には、目で見て合わせた場合とはピントの位置がずれるため、赤外指標（赤い線に黄色または緑色の点）で距離を補正します。

※赤外線撮影の詳細については、使用する赤外フィルムの使用説明書をご参照ください。

※右の図はAi ズームニッコール 35-70mm /f3.5-4.8Sレンズを例にして説明してあります。

**1 フィルターを付けていない状態でファインダーをのぞき、ピントを合わせます。**

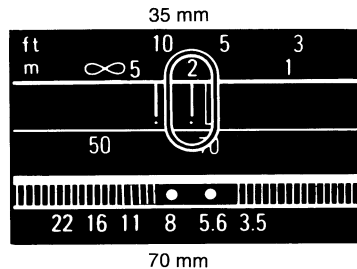
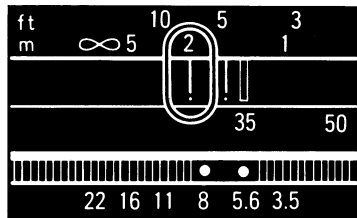
**2 ピントが合った撮影距離を読み取り、その値を赤外指標に合わせます。**

…レンズが広角（35mm）側のときは緑色の指標に合わせます。

…レンズが望遠（70mm）側のときは黄色の指標に合わせます。

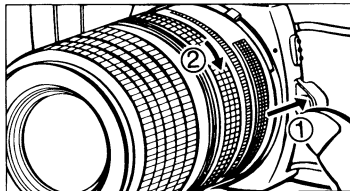
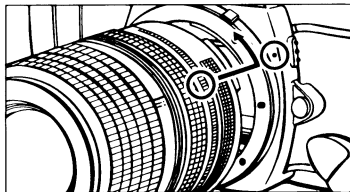
**3 R60などのフィルターを装着して撮影します。**

35 mm

70 mm

# レンズの付け方、外し方

・レンズの着脱は、直射日光を避けて行ってください。
・レンズを取り付ける際は、レンズ取外しボタンを押さないように注意してください。

**1** カメラの白点マークとレンズの距離指標を合わせ、レンズを反時計方向にゆっくり回します。
…カチッと音がするまで回してください。

**2** レンズを取り外す場合は、レンズ取外しボタン(9)を押しながらレンズを時計方向に回して外します。

# 使用レンズについて

ニコンFM10に使用できるレンズはAI方式ニッコールレンズ、AFニッコールレンズ、ニコンレンズシリーズE、その他レフレックスニッコール、メディカルニッコールなどとなっています。これらのレンズ以外のレンズはニコンFM10に使用することはできません。これはレンズとニコンFM10の露出計が連動しないことと、レンズによってはニコンFM10に取り付けることができないためです。(無理にレンズを取り付けますと、 ボディを破損したりレンズの着脱ができなくなることがあります。)

- AI方式以外のニッコールレンズでレフレックスニッコール500mmF8,およびPCニッコール28mmF3.5,メディカルニッコール120mmF4は全てニコンFM10に使用できますが、その他のレンズは次のレンズのみニコンFM10に使用可能です。
- レフレックスニッコール1000mmF11は、製品No.140001～142360、およびNo.143001以降のもの。
- レフレックスニッコール2000mmF11は、製品No.200311以降のもの。
- PCニッコール28mmF4は製品No.180901以降のもの。
- PCニッコール35mmF2.8は製品No.851000以前のもの、およびNo.906201以降のもの。
- ズームニッコールED180～600mmF8は製品No.174167以降のもの。
- ズームニッコール200～600mmF9.5は製品No.300491以降のもの。
- ズームニッコールED360～1200mmF11は製品No.174088以降のもの。

# 使用可能な別売りアクセサリー

## スピードライト(SB-800/30/29s/27/22s/16B)

暗い場所での撮影や逆光でのポートレート撮影などに利用すると便利です。

- FM10のアクセサリーシューはフラッシュ接点付(ホットシュー)ですので、上記スピードライトはコード不要で、アクセサリーシューに差し込むだけで接続できます。
- 上記スピードライトを使用される際は、外部調光かマニュアル撮影でご使用ください(詳しくは、ご使用の各スピードライトの使用説明書をご参照ください)。

## 接写アクセサリー

クローズアップレンズ(No.0、No.1、No.2)は、レンズの先端に取り付けて使用します。
オート接写リング(PK-11A、PK-12、PK-13)、ベローズアタッチメントPB-6は、レンズとカメラボディとの間に取り付けて使用します。

## ファインダーアクセサリー

接眼補助レンズ(9種類)、アイピースアダプター、マグニファイヤーDG-2、角窓用変倍アングルファインダーDR-6、アイピースキャップDK-5、ケーブルレリーズAR-3等は、接眼部およびカメラに取り付けて使用します。

# カメラの取扱いについて

**警告**

**シンナーやベンジンなどの有機溶剤をカメラ、レンズの清掃に使用しないこと**

火災や健康障害の原因となります。

製品を破損します。

## ■カメラに強いショックを与えない

カメラやレンズは、精密機械です。落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、シャッター幕に直接手を触れないでください。変形や破損などの原因となります。

## ■異物を入れない

カメラの開口部（マウント、裏ぶた等）から異物が入らないようにしてください。万一入ると故障の原因になります。

## ■水にぬらさない

このカメラは防水機構になっておりません。水にぬらさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能となることがあります。

## ■ミラーやレンズを手入れする際の注意

レンズやミラー、ファインダースクリーンにゴミやホコリが付いているときは、キズが付きやすいので、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払う程度にしてください。
万一指紋などが付いてしまった場合は、柔らかい清潔な布で軽く拭き取ってください。

## ■急激な温度変化を与えない

温度差が極端となる場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラの内外に水滴を生じ、故障の原因となります。カメラをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

## ■カメラの手入れ方法

カメラを手入れする際は、ブロアーでゴミやホコリを軽く吹き払ってから、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。特に、海辺などで使用した後は、真水を浸した布で塩分を拭き取ってから手入れしてください。

## ■保管する際は乾燥剤と一緒に保管する

カメラをポリエチレン袋などに乾燥剤（シリカゲルなど）と一緒に入れて保管すると、より安全です。ただし、ソフトケースをビニール製の袋に入れておくと、ソフトケースが変質することがありますので避けてください。乾燥剤は湿気を吸って効力がなくなりますので、ときどき取り替えてください。

## ■カメラは風通しのよい乾燥した場所に保管する

カメラを保管する際は、ナフタリンや樟脳の入ったタンスや磁気を発生する器具（テレビやラジオなど）のそばを避けて、風通しのよい乾燥した場所を選んで保管してください。
極度に高温となる場所（閉めきった車内やトランクの中、使用しているストーブの前など）にカメラを置かないでください。故障や破損の原因になります。

## ■分解しないでください。

カメラが故障したときや、調子が悪いときでも絶対に分解しないでください。

## ■保管した後は

乾燥剤（シリカゲル）は湿気を吸って効力がなくなりますので、時々、取り替えてください。カメラ、レンズを長期間使用しないまま放置しておくと、カビや故障の原因となることがあります。
1ヶ月に一度を目安に電源を入れて、数回シャッターをきってください。

# 電池の取扱いについて

## ■カメラを長期間使用しないときは、電池を取り出して保管する

カメラを長期間使用しないときは、電池の漏液などからカメラを保護するため、カメラから電池を取り出して保管してください。20℃以下の湿度の低い所に保存してください。

## ■低温時には新しい電池を使う、予備の電池を用意する

低温時に消耗した電池を使用すると、露出表示が作動しない場合があります。低温時に撮影する場合は、新しい電池を使用し、保温した予備の電池を用意して暖めながら交互に使用してください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかった電池でも、常温に戻ると使える場合があります。

●電池を入れるときは、カメラの電源スイッチをOFFにしてから、十・一を間違えないよう正しく入れてください。

●電池を分解する、ショートさせる、加熱する、火の中へ入れるなどは、破裂のおそれがありますので、絶対にしないでください。

●電池を交換するときは、同一メーカーの同じ種類の新しい電池2本を同時に交換してください。誤った使い方は、電池寿命を短くしたり、接触不良等を引き起こす原因となります。

# アフターサービスと保証について

## ■この製品についてのお問い合わせは

ご意見、ご質問はニコンカスタマーサポートセンターでお受けしています。

・ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご参照ください。

## ■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービスセンターにご依頼ください。

・ニコンサービスセンターにつきましては、「ニコンサービス機関のご案内」をご覧ください。

・ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は、最寄りの販売店、またはニコンサービスセンターにご相談ください。

## ■補修用性能部品について

ニコンFM10の補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後7年間を目安としております。

・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

・修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後におきましても修理可能な場合もありますので、ご購入店または当社サービス機関にお問い合わせください。

・水没、火災、落下などによる故障または破損で、全損と認められた場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、当社サービス機関にお任せください。

## ■製品の保証について

(1) この製品には「保証書」がついていますので、ご確認ください。

(2)「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様にお渡しすることになっております。「ご購入者氏名」及び「住所」「ご購入年月日」がすべて記入された「保証書」をお受け取りになり、内容をお読みの上、大切に保管してください。

(3) 保証規定による保証修理は、ご購入から1年間となっております。「保証書」をお受け取りになりませんと上述の保証修理が受けられないことになりますので、もしお受け取りにならなかった場合は、ただちにご購入店にご請求ください。

(4) 保証期間経過後の修理は、原則として有料となります。また、運賃諸掛かりはお客様にご負担願います。

(5) 保証期間中や保証期間経過後の修理、故障など、アフターサービスについてご不明なことがありましたら、ご購入店または当社サービス機関にお問い合わせください。

## ■使用説明書について

使用説明書が破損などによって判読できなくなったときは、当社サービス機関にて新しい使用説明書をお求めください(有償)。

# 仕様

| | |
|---|---|
| 型　式： | 機械制御式35mm一眼レフレックスフォーカルプレーンシャッターカメラ |
| 露出制御： | マニュアル |
| 使用フィルム： | パトローネ入り35mmフィルム |
| 画面サイズ： | 24×36mm |
| レンズマウント： | ニコンFマウント |
| シャッター型式： | 上下走行式フォーカルプレーンシャッター |
| シャッタースピード： | B、1～1/2000秒 |
| ファインダー： | ペンタプリズム使用、アイレベル式 |
| ファインダースクリーン： | 専用K型（スプリットマイクロ式） |
| ファインダー倍率： | 約0.84倍(焦点距離50mm使用時で∞のとき) |
| ファインダー視野率： | 約92% |
| ファインダー内表示： | 緑 ○ LED：適正露出<br>赤 ＋ LED：露出オーバー警告<br>赤 － LED：露出アンダー警告 |
| ミラー： | クイックリターン式 |
| 測光方式： | TTL中央部重点測光、絞り込み測光も可能 |
| 測光範囲： | ISO100でEV2～19（F16、1/2000秒） |
| フィルム巻上げ： | 一作動レバー巻上げ式、二重巻上げ・二重露出防止機能付き |
| 多重露出： | 多重露出レバーにより可能 |
| フィルム巻戻し： | 巻戻しボタンおよび巻戻しクランクによる（巻戻しボタンは巻上げにより自動復帰） |
| フィルムカウンター： | 順算式、裏ぶた開放により自動復帰 |
| フィルム感度： | ISO25～3200、1/3段ステップ |
| セルフタイマー： | 機械式、作動時間約10秒（解除不可） |
| シンクロ接点： | X接点のみ、シャッタースピード1/125秒以下の低速でスピードライトに同調 |
| アクセサリーシュー： | ホットシューのみ |
| その他の機能： | 被写界深度確認機能 |
| 三脚ネジ穴： | 1/4インチ（JIS規格） |
| 電源： | 1.5V、LR44型アルカリ電池2個、CR-1/3N型リチウム電池1個、またはSR44型銀電池2個 |
| 電源スイッチ： | シャッターボタンの半押しまたは測光ボタンON時 |
| 電源チェック： | 電源スイッチON時、LEDが点灯すれば使用可能 |
| 大きさ： | 139（幅）×86（高）×53（奥行）mm |
| 質量（重さ）： | 約420g（電池含まず） |

※データはすべて、常温（20℃）、新品電池使用時のものです。
※仕様・外観の一部は、改善のため予告なしに変更することがあります。

## 製品の使い方に関するお問い合わせ

＜ニコン カスタマーサポートセンター＞ 全国共通のナビダイヤルにお電話ください。

**0570-02-8000**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30〜18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577 におかけください。

ファクシミリでのご相談は、（03）5977-7499 に送信ください。

## 修理サービスのご案内

**インターネットでの修理のお申し込み**

下記 URL から「ニコン ピックアップサービス」のお申し込みができます。宅配便などでお送りいただいた場合などの「修理金額見積り」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/support/repair/

### 修理品のお引き取りを依頼される場合は

＜ニコン ピックアップサービス＞

下記のフリーダイヤルでお申し込みいただくと、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）が、梱包資材のお届け・修理品のお引き取り、修理後のお届け・集金までを一括して提供するサービスです。

**0120-02-8155**

営業時間：9：30〜18：00（年末年始12/29〜1/4を除く毎日）

※左記のフリーダイヤルは、ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）にて承ります。

製品に関するお問い合わせは、上記のカスタマーサポートセンターへお願いいたします。
修理に関するお問い合わせは、下記の修理センターへお願いいたします。

### 修理品を宅配便などでお送りいただく場合の送り先と修理に関するお問い合わせは

＜（株）ニコンイメージングジャパン　修理センター＞

230-0052　**横浜市鶴見区生麦**2-2-26

**0570-02-8200**

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます

営業時間：9：30〜17：30（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日など弊社定休日を除く毎日）

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、（03）6702-0577（ニコンカスタマーサポートセンター）におかけください。

**●修理センターには、ご来所の方の窓口がございません。宅配便のみお受けします。ご了承ください。**

**株式会社 ニコン**

**株式会社 ニコン イメージング ジャパン**

Printed in Japan
TT0D06(10)
*8MAA2010-06*